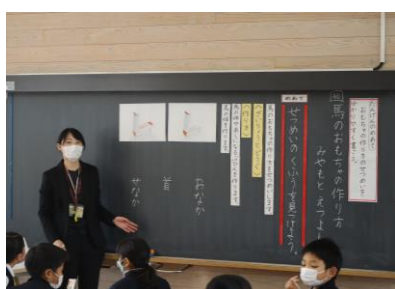


いい声 いい顔 いい心

校内研修

職員も「学びの秋」ですね。先日の校内研修は低・中・高3本の授業が行われ、教科の本質や指導技術等についてテーマを基に考えることができました。なかなか全ての授業を見ることは難しいかもしれませんが、これだけ多くの実践がなされ、参観するチャンスがある山小は恵まれていますね。大事なものは「学びを自分に返す」ことです。マネをしたり、アレンジをしたり、別方向から迫ってみたりと「自分だったら」という視点で実践してみてください。

大瀬先生、西川先生、最上先生、貴重な提案をしてくださり、ありがとうございました。



2-3 大瀬先生の国語授業



4-2 西川先生の算数授業



5-3 最上先生の国語授業

三小交流

11/17(木)に行われた三岳小・平小城小との交流会は授業準備や迎え入れる配慮をさせていただきありがとうございました。あっという間に終わってしまいましたね。2校の友だちが来てくれたことがうれしくて、にこにこしている山小の子供たちの姿が印象的でした。最後はバイバイやタッチをしている光景もほほえましかったです。

次回は3学期。仲良くなる活動が予定されているようで、今から楽しみです。子供たちの笑顔がまたみられることでしょう。



きく力を育てたい

山小全体の課題の一つに「きく力」があると感じている私です。授業もですが、行事の時などにも感じます。先生方はどう感じられますか？学力向上や人権尊重に寄与する力ですよ。

- ・話が理解できている
- ・相手を尊重している

目と耳と頭と心できいているか確認して、児童の「きく力」を高めたいものです。



～ティータイム～

「シンジラレナ～イ」

人間ドックまで1ヶ月をきった。今、給食のご飯は半分だ。(食べた気がしない) 先日ラウンジでご飯を減らしていたら、高木(芳)先生が鼻で笑った。「ドック前にやって何になるんだ」と言わんばかりだ。「ありのままを見せんと！」とツッコまれる。ありのままを見せたら、とんでもないことになってしまう。所詮、悪あがきだ。されど、大事な悪あがきなのだ。(共感してくださる方募集中)

「これでも昔はシューっとしとったとばい。向先生みたいにシューって。」——高木先生と向先生が鼻で笑った。「くそっ、こやつたちは、絶対信じとらんない。」(言葉が悪くてごめんなさい) でも、私がシューっとしていたのは20代半ば過ぎまで。もう知る人は少ない。妻でさえ知らない。小中高大学の友人は「なんで、そぎゃん変わったと？」「お前が、一番(見た目が)変わった」と言う。つれづれなく書いていたら、なんか悲しくなってきた。今回はこの辺で・・・。



